



聴覚障がい者って？

あなたは聴覚障がいの方たちと
うまくコミュニケーションが取れますか。

聴覚障がい者と言っても…

聴覚障がい者は、耳の聞こえが不自由な人を言いますが、その原因や聞こえの程度によって、分類の定義がさまざまです。

聴覚障がい者は「中途失聴者」「難聴者」「ろうあ者」に分けることができますが、その対応は異なります。

例えば、中途失聴者はある程度話をするのですが、**「ろうあ者」**は、音声言語を習得する前に失聴した人のため、そのほとんどが話をするできません。

こんなとき困っています

あなたは、聴覚障がい者に出会ったことがありますか。どうしたらよいか戸惑ってしまった経験はありませんか。聴覚障がい者は、外見では健常者と見分けがつかない

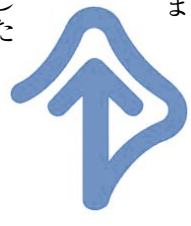


- ため、周囲の方に気づいてもらえず、日常生活の中でさまざまな不便を感じています。
- 声をかけられても気づかないため、無視をされたと思われる、心ない言葉を受けることがあります。
- 放送による呼び出しや声かけがわからず、銀行や病院などで不在だと思われる、後回しにされる場合があります。また、駅の構内放送などに気づかず適切な行動が取れないことも。
- 車のクラクションがわからず事故や事件に遭遇することも多いです。

耳マークをご存じですか？

耳マークをご覧になったことがありますか。市役所や病院などで見受けられます。このマークは、目の不自由な方の「白い杖」や足の不自由な方の「車いす」マークと同様に耳の不自由な人のためのシンボルマークです。

聴覚障がい者の意思疎通手段はさまざまですが、このマークを提示されたら、ゆっくりと話したり、手話や筆談の配慮が必要です。



コミュニケーション方法は…

聴覚障がい者のコミュニケーション手段は、補聴器や磁気ループなどの機器を使って聞こえを補う方もいれば、手話、筆談の方法でしか会話ができない方もいます。「ろうあ者」の場合は手話がほとんどです。

現在、市に登録のある7人の手話通訳士が聴覚障がいの方をサポートしていますが、一朝一夕に

は手話の習得はできないため後継者が育っていません。通訳は無理でも簡単な手話を覚えることで、聴覚障がい者とコミュニケーションが可能になり、いざというときに心強いサポーターになれます。簡単な手話を覚えて「ろうあ者」と話してみませんか。

★かんたんな手話を覚えようよ

地区	東部 (三谷・大塚地区)	中部 (蒲郡・北部・塩津地区)	西部 (西浦・形原地区)
ところ	東部市民センター	勤労福祉会館	形原公民館
とき	10月30日～11月27日 毎週土曜日 全5回 午後6時～8時	11月5日～12月17日 毎週金曜日(ただし、11月26日、12月10日は除く) 全5回 午後7時～9時	11月10日～12月15日 毎週水曜日(ただし、11月24日は除く) 全5回 午後6時～8時
定員	各会場20人(先着順)		
申し込み	10月22日(金)までに電話またはファクス(66♦3130)で、住所・氏名・電話番号・年齢・参加地区を福祉課へ。※参加費は無料です。		